

9月2日(月)

エリシャの宿泊

聖書朗読 II列王記 4:8~17

つぶやかないで、互いに親切にもてなし合いなさい。

Iペテロ 4:9

旅先で快適なベッドと宿泊に必要なものを提供してくれるホテルは、すぐに私たちのお気に入りの宿泊所となります。旅での疲労をいやすことができるからです。

エリシャは、シュネムの女性とその夫の温かいもてなしを受けるまでは、何のもてなしもない宿に泊まっていました。しかし彼女の家では、エリシャが心地よく宿泊できるようにと、それこそが彼女にとって最大の気がかりでした。彼女はエイシャのために、夫に頼んで屋上にエリシャ専用の部屋を造ってもらい、ベッド、テーブル、椅子、ランプなどの家具を調えました。

エリシャの考え深いこの友は、なんの見返りも期待しませんでした。しかしながら、エリシャは彼女のために何かしたいと思いました。エリシャは彼女のために王や將軍へ口を利いてあげましようと思し出しました。しかし彼女は、「私は私の民の中で、幸せに暮らしているので何もいらぬ」とエリシャに言いました。

しかし、エリシャのしもべのゲハジが言いました。「彼女には息子がなく、彼女の夫も年をとっています」。エリシャはその女を呼び出して言いました。「来年のこの時期、あなたは腕に息子を抱いているでしょう」。

その年内に、その女はエリシャが言ったように男の子を産みました。

親切なもてなしをしても、そのような奇蹟的な結果を導かないかもしれませんが、しかしそれは測り知れない喜びをもたらすでしょう。

讚美歌 537

祈り 親愛なる主よ。他人を私たちの家へ歓迎することができるように、親切な心を私たちに与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

スー・ラザム

カリフォルニア州 アンテロープ

今日のカ

2013年9月2日~9月8日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月3日(火)

ヨシャパテの祈り

聖書朗読 II歴代誌 20:1~19

私たちの神よ。あなたは彼らをさばいてくださらないのですか。私たちに立ち向かって来たこのおびただしい大軍に当たる力は、私たちにはありません。私たちとしては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私たちの目を注ぐのみです。

II歴代誌 20:12

今日の聖書朗読はイスラエルの王ヨシャパテの偉大な祈りの部分です。彼は、イスラエルのモアブ人とアモン人が神の国民に対し戦をしかけに向かっていると言う知らせを受け取りました。恐怖の中にあつて、ヨシャパテは神様の助けを求めるようにと国中に布告を出しました。

昨年私が聖書の中に祈りの模範をさがしていたとき、この聖書朗読の部分である12節を見つけました。そしてこれが2012年の私の祈りとなりました。(20章12節は2012年とマッチしますが、これは偶然です!)この章の残りの部分はヨシャパテ王の懇願の祈りにたいする神様の応答です。神様がユダの国におっしゃいました。『恐れるな・・・この戦はあなたのものではなく、神のもの・・・あなたは戦う必要はない・・・主があなたとともにいる。』

次の日、ユダの二つの敵はお互いを敵として向かい合いました。神様の国民は剣を上げる必要さえなかったのです!

私たちが自分自身の力を頼みにしていたなら
いくら頑張ってもむだになってしまうだろう
私たちの傍にいる人は、神ご自身が選ばれた正しい人であるだろうか
それはだれか? それはすなわち、キリスト・イエス様である
——マーティン・ルーサー

讃美歌 415

祈り 主よ。この世界とその問題に、私は時々圧倒されてしまいます。ヨシャパテのように、どうすればいいのかわからない時があります。しかし、お父様、私は自分の目をあなたに置き続けます!

イエス様の御名において。アーメン。

ブルース・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

9月4日(水)

軍をもって

聖書朗読 ネヘミヤ記 4:15~23

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。 エペソ 6:12

若い女の子として、私の娘は仲間の女の子たちからのプレッシャーにとっても敏感です。仲間がすることにならなくても、なんの疑いもなく彼女を参加させるには、「やらないならあなたのことは好きではないわ」と脅かしさえすればいいのですから。彼女の子どもじみた悪事を正しながら、私の心は、将来娘が思春期をむかえ、もっと深刻な仲間からのプレッシャーを受けたときのことを考えて、慄きました。

私はその心配する気持ちを私の母と分かち合いました。母は一言も言わず、私たちの娘のために、娘のこの弱点に関して特に名指して祈ることを始めました。母は、娘が平均的な女の子だったミドル・スクール時代、不安定だったジュニア・ハイスクール時代、そしてプレッシャーの最中にあったハイ・スクールとカレッジ時代、ずっと祈り続けました。

私たちの娘は、強く信仰心のある娘に成長しました。あなたが娘にたずねれば、彼女は、それは部分的には私の母がそうしてくれたのだというでしょう。娘は「私はティーンエイジャーやカレッジの若者がするような馬鹿げたことをみんなやってみたかったけど、でもできなかったわ。祖母が私のために祈っていたからよ」と言っています。

私たちの子どもたちのたましいを正しく保つための戦いは現実的で深刻です。戦いのために、できるだけ自分の軍の兵士を徴兵しましょう。そして、他人の軍にもボランティアとして加わり、戦いに参加しましょう。

讃美歌 第二編 155

祈り お父様。あなたが私たちのうちに働いてくださり、あなたに従いたいという熱望と、あなたを喜ばせることをしようという力を、私たちにくださっていることに感謝します。他人がそれと同じことをできるように、私たちに知恵と勇気と忍耐をください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジル・ミムス・モーディ
テキサス州 ラボック

9月5日(木)

神様の記憶を信頼しつつ

聖書朗読 ネヘミヤ記 13:14~31

私の神。どうか私を覚えて、いつくしんでください。

ネヘミヤ記 13:31

ネヘミヤは、神様と神の国民のために自分がした働きを神様に申し上げながら、一回ではなく、二回でもなく、四回も自分を覚えていてくださいと神様にお願いしました。ネヘミヤは本当に神様が彼のことを忘れてしまうと思ったのでしょうか？ そんなことはありません。覚えていてくださいと祈ることは、この世での神様の活ける存在を自分自身の人生において認めることを意味するのです。神様に「私を覚えていてください」とお願いすることは、自分の人生の過去、現在、そして将来を神様に任せることになるのです。

ネヘミヤは自分がなした良いことを、または他人がなした悪いことを覚えていてください、と神様に頼むことを恥らひはしませんでした(14節)。ネヘミヤは徹底して神様の慈しみと愛を求めています(22節)。ある学者は、「ネヘミヤは神様が自分を覚えていてくださることだけが自分の望みであると知っていた」と書いています。

「どうぞ、私を御心に留めてください」。それは、ペリシテ人の寺院において、サムソンの神様への願いの中にもありました(士師記 16:28)。それは、神様に息子を授けてくださいと頼んだハンナの祈りの中にもありました(Iサムエル 1:11)。詩篇の著者も何度もそういつて神様の好意を求めています(詩篇 25:7, 106:4)。それは、十字架上のイエス様の横で、十字架にかけられた犯罪人の懇願の祈りにもあります(ルカ 23章 42節)。

そのようなお願いで、一日を、一週間を、人生を終えるのはとても良い方法です。
——「私を覚えていてください。ああ、私の神様」。

讃美歌 511

祈り 偉大なる神様、そして私たちすべてのお父様。私たちのことを忘れることなく永遠に覚えていてください。——あなたが私たちにあなたを覚えていられるようにと教えられたように。

あなたの御子の御名において祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ダーラム

9月6日(金)

なぜこんなことが起こっているの？

聖書朗読 ヨブ記 42:1~6, 12

ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょうか。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょうか。なぜなら、だれが主のみどころを知ったのですか。ローマ 11:33~34

打ちのめされ、破壊され、粉碎され、呆然となるような、焼きこがすような痛み。精神的打撃を避けることのできる人間はいません。私たちは苦しみ、なぜと自分自身に問いかけたりします。ヨブのように、私たちは全能の方に、起こっている出来事について説明を求めたがるかもしれません。

最近、私は新しい友だちに、自分の人生で経験したとても困難な時期のことを打ち明けました。彼女は「当時を振り返ってみて、その時の苦しみの目的が分かる？」と私にたずねました。正直に私は「分からない。でも、私は神様を信頼することを学びました」と答えました。今日、私はうれしいことに、その痛みの最中であって、神様が私に誠実によいことをしてくださるということに認識したのです。私は、永遠に十分な答えがないであろう人生の問題にも、何らかの答えがあると信じます。

ヨブの苦しみから私が学んだ最も重要な真実は、神様はヨブ(と私)にこうおっしゃったのです。「利口になる必要はない。理解する必要はない。私を信頼してほしい。完全に絶対的に私にあなた自身の身をまかせてほしい」。それは、神様ご自身へ究極に導かれる旅であり過程であり、神様がただ支配する神ではなく、私たちを愛してくださる親切で良い神であるということに再度確信することなのです。

讃美歌 293

祈り 親愛なるお父様。私たちを決して離れることも見捨てることもしないというあなたのお約束に感謝します。あなたがなさるすべてのことが良いことであることに感謝します。あなたの知恵が私の限られた知識よりはるかに勝っていることに感謝します。

イエス様を通して。アーメン。

ブリッジ・ニーマン

コロラド州 ニューカッスル

9月7日(土)

選 択 を す る

聖書朗読 詩篇 1編

その人は、何をしても栄える。

詩篇 1:3

私はこの詩篇に描写された人が何を選んだかに注目するよりも、その選択の結果何が起こったかへ注目してしまいます。選択が結果を導くのです。

私はテキサス州西部の乾燥した砂漠地帯で数年間育ったので、いつも実をつける常緑樹のすばらしさについては、いくら強調しても足りないくらいの思いがあります。しかし、この豊かな実りをもたらす魅力的な木になるためには、すべき選択があります。その選択とは、しばしば二人の人々によって描写されています。一人は神様のことばを喜ぶ人、もう一人は神様のことばを受けつつも不信仰な行いを選んだ人です。聖書の中にはこの対照的な二人に結びつく話がいくつもあります。私たちが主による繁栄を楽しむ方法について知っていることの多くは、この相反する二人から学ばされているのです。カインとアベル、ヤコブとエサウ、そしてダビデとサウル。放蕩息子とその兄の話もあります。二人の人々、二つの選択、二つの運命。

注意深く選択しましょう！あなたの人生は、豊かに実る木として描かれるか、それとも風に吹き飛ばされる脱穀された穀物の殻となるか、どちらかなのです。

讚美歌 452

祈り ああ、主よ。正しい選択をする機会を私たち自身が選択できるようにしてください。感謝します。正しい選択のあとには良いことが起こるという約束に感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

クリス・フリッツェル

テキサス州 グランベリー

9月8日(日)

実 在 の メ ロ デ ィ

聖書朗読 詩篇 16編

神よ。私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。

詩篇 16編

今日の聖書朗読は、私がしばしば無視しがちな非常に重要なことに私の心を向かわせます。それは主の統治をどこに展望するかということについてです。このことは、お金を稼いだり、義務を果たしたり、自分自身を楽しませたりすることを超えて大切なことです。患者や愛する配偶者が私を待つように、この展望は私がある存在を見たり、楽しんだりすることを待っているのです。

ダビデは彼の主へこの愛の歌を作ると、真実のメロディをもってそれを歌います。それはいつも私たちの周りをとりまいているラジオの周波のようなものです。いつでも私たちはときどき、その周波数にチャンネルを合わせるのを忘れていますが、

今日という日を送りながら、聖霊のメロディを聞きましょう。

神様は私を安全にしてくださっている

主の秩序が私の側についている

なんと喜ばしい遺産であろう

私はキリスト・イエスのように揺さぶられることはないであろう

私は墓場へ捨てられることはないであろう

神の存在の中に、永遠の喜びが私を待っている

神様がその永遠の喜びへ私を導こうとされる小道を私は知っている

これらのメロディによって、私の人生には今日どんな違いが起こるのでしょうか？ それとも違いはあなたの人生に起こるのでしょうか？ それともたぶんメロディと触れ合ったそれぞれの人に違いは起こるのでしょうか？ 私には本当のところはわかりませんが、その可能性が永遠にあるということはわかります。

讚美歌 第二編 131

祈り 主よ。あなたは、今までも、これからも、最も偉大な方です。今日あなたが私たちを通して歌うことば可能でしょうか？ この考えは私を謙虚にさせます。なぜなら、私はその仕事を引き受けることが出来ないと知っているからです。しかし、あなたはすなわち、私が信頼したナザレのイエス様、ユダヤ民族の救い主、そして世界のキリストであり、私にどうすればよいか示す方です。

イエス様の聖なる御名において祈ります。アーメン。

ケリー・ミラー

カリフォルニア州 マリブ